

はだしのゲン (1983)

Barefoot Gen

メディア 映画 アニメ

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 日本

色彩 Color

時間 85分

初公開日 1983/07/21

公開情報 共同映画全国系列会議

【解説】

世代を超えて読み継がれる、中沢啓治の反戦漫画の劇場アニメ化。

1945年4月の広島。国民学校（戦時中の小学校）2年生の中岡ゲンは、父親の大吉が戦争を批判したことから非国民の子といわれていた。だが苦渋の生活に耐える一家の前で8月6日、広島にピカ（原子爆弾）が投下。ゲンは父、姉、弟を一瞬のうちに失った。このショックで早産した母・君江と、生まれた赤ん坊の妹・友子の面倒を見ながら、他の被災者とともに必死に生きるゲン。彼は死んだ弟・進次にそっくりな戦災孤児・近藤隆太を家族に加え、そして原爆のため全身に大火傷を負った画学生の青年・吉田政二の看病をしながら戦後の世を生きていくが。

制作はマッドハウス。監督は真先守。原作・脚本ではゲンの2人の兄が登場しているが、完成した本作のアニメ版では整理された。また原作では政二青年は死亡するが本作では最後まで生存するなど、いくつかの改訂が図られている。なおゲン役のCV・宮崎一哉はオーディションで選ばれた、広島県出身の当時小学生だったが、この作品で好評を博し、以降、本格的にボイスアクターの道を歩むことになった。

【クレジット】

監督	真崎守	
製作	中沢啓治	
プロデューサー	吉元尊則	
	岩瀬安輝	
原作	中沢啓治	「はだしのゲン」
脚本	中沢啓治	
作画監督	富沢和雄	
撮影監督	石川欽一	
美術監督	男鹿和雄	
色指定	西表美智代	
音響監督	明田川進	
音楽	羽田健太郎	
設定	丸山正雄	
ナレーション	城達也	
声の出演	宮崎一成	ゲン
	甲田将樹	進次／隆太
	中野聖子	英子
	井上孝雄	父
	島村佳江	母

青野武	英造
森功至	政二
中西妙子	ハナ
西村淳二	朴
北村弘一	主人
矢田耕司	
田中康郎	
田中亮一	
佐藤正治	
頓宮恭子	
塩屋浩三	
佐久間あい	
戸谷公次	
安田あきえ	
渡辺菜生子	
吉川健一	
早稲田博	
篠原和美	